

●合計特殊出生率0.96の衝撃

今年6月5日、厚生労働省は東京都の合計特殊出生率(≒1人の女性が一生の間に生む子どもの数)が0.99になったと発表。7月の都知事選挙でも少子化対策が重要課題となりました。

振り返れば鎌倉市は23年前のH13(2001)年に、同出生率が0.96になったことをきっかけに、子育て支援の充実に力を注ぎ、数多くの独自の取り組みを進めてきました。私が議員1期目のことで、この23年間の成果は一定の評価に値するものと受け止めています。
※R2(2020)年の鎌倉市同出生率は1.15

●少子化対策は

不安・負担感の軽減

出産や子育ては、その時は人生の大問題なのですが、終わってしまうと思いがちになってしまいます。ですから常に真っ只中にいる方のナマの声を聞き、納得いただける支援策を展開しなければなりません。



一般質問に立つ前川議員(9/4)

今議会ではその思いで、

産院への往復から保育園、子育てしやすい環境整備など、子育て支援の課題を一番目に取り上げました。

●交通不便解消と外出・移動支援

令和3(2021)年1月に二階堂・浄明寺地域の一部で新たな交通システム導入を視野に入れた実証実験が行われ、その後各地で福祉事業者による試みも行われてきています。しかしいずれも地域交通システムとして決定打となっていないのも事実です。

問題解決に向けてどのような予定が立てられているかを質問しました。

前川あやこの活動は
ブログ「いやさか通信」
Facebook、Instagramを
ご覧ください。



いやさか通信



Facebook



Instagram

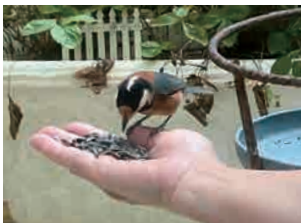
ブログ「いやさか通信」から

世界選手権で総合4位



浄明寺生まれ育ちのライフセーバー高橋さん(右)。オーストラリアでの世界選手権IRB競技に日本代表として出場。子ども時代を知るだけに嬉しい(9/23)。

野鳥好きな私も初めて



わが家に来るヤマガラのうち1羽が、手のひらからヒマワリの種を食べる。軽い、微妙な足と爪の感覚がしばらく手のひらに残り、幸せな一日(9/21)。

夕焼け空の名勝です



9月下旬というのに酷暑だった。鎌倉駅東口の夕空、仕事も終えてホッと跳める夕焼け雲が、秋はもうすぐと告げている(9/20)。

坂の下 御霊神社祭



今日は御祭神の鎌倉権五郎景政の命日。「鎌倉神楽」が4名の神職により奉納され、10名の面掛衆を中心とした「面掛行列」が市内へ(9/18)。

鶴岡八幡宮例大祭



置き石の神輿と大蔵の神輿が境内で一緒になり、本殿の灯りと二つの神輿の灯りが、一つの景色の中に入る鎌倉ならではの光景(9/16)。

学生団体ニューコロンプス



鎌倉を拠点に活動。代表(船長)も4代目を迎え、140名を超える高校、大学生が参加。鎌倉の未来を見据えた活動が頼もしい(8/23)。

前川あやこのホームページからブログ「いやさか通信」をご覧ください。
<http://www.maekawa-ayako.net>

【発行】前川あやこ 【住所】〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-10-8
【TEL / FAX】0467-23-0964 【E-mail】info@maekawa-ayako.net
【前川あやこ履歴】1960年鎌倉市二階堂生まれ、聖心の園幼稚園
第二小・中学校、聖園女学院、日本大学。

共育のまち、鎌倉をつくろう



コロナ以来、鎌倉の花火大会が行われるのは5年ぶり。この夏、生まれて初めて見たお子さんも多いことでしょう。夏と言えば海岸の花火、と育ってきた大人たちにとっては、やっと鎌倉の夏が戻ってきたと感慨深いものがありました。子どもたちがこれからも毎年花火を見られますように(2024.07.17)。



無所属 鎌倉市議会議員5期
前川あやこ

会派「夢らい鎌倉」所属

教育福祉常任委員会副委員長

新庁舎等整備に関する調査特別委員会委員長

レポート

NO.84

2024.10発行

2024年9月議会からのご報告

- 1 合計特殊出生率0.96の衝撃
- 2 出産・子育ての悩みや不安は様々
- 3 子育てしやすい環境整備について
- 4 交通不便解消への取り組み



WEBサイト

討議資料

出産・子育ての悩みや不安は様々

●出産にかかわる交通費の支援は？

現在鎌倉市には出産できる病院は大船方面に2院のみ。身重な体でバスや電車を乗り換える苦労を考えれば、交通費を補助するだけでも貴重な支援です。ティアラ鎌倉が閉院する時も同様な要望をしましたが、改めて実現を！

●救急車を呼んでもいいのか？

出産は病気ではない、というのが常識的な考え。このため、例えば1人である時に陣痛が起きても救急車を呼ぶことがためられます。救急車を呼ぶことについて、「ナビきらきら」や市のHPにも記載がなく、呼んではいけないと思いついでいる人もいます。ぜひ改善を！

●鎌倉方面でお産ができる病院を

鎌倉駅前産院と呼ばれたティアラ鎌倉が閉院されて3年が過ぎました。その開設・閉院を議員としてかわり、大変な苦労であったことを思い出します。一層の子育て支援が必要な中で、鎌倉方面で分娩できる産院の開設こそ、不安感を解消する重要な施策です。



●保育所、待機児童数県下1位に

市内の保育所数は約40、すごく増えたと思ってただけに、待機児童数が県下1位になったのはショック。今年4月の待機児童数は34人。市の見込み違いで発生したとのこと。これまでも妊娠時のアンケートなどを行っており、誕生後希望が変わることも多いそうですが、ぜひ予測精度を上げ、的確なニーズを把握して欲しい。

●保育所の質の確保については？

数の確保とともに保育所の質が重要。市では令和3年3月にガイドラインを策定して取り組んでおり、保育の質の向上を目指しています。その中で大切なのは各保育所と市との良好なコミュニケーション。運営者との関係の深化を求めます。

子育てしやすい環境整備についての応答

Q. 道の狭さ、段差の多さ、ガードレール内の側溝など、ベビーカーで通行しにくい道路状況。押す人の視点で点検と対応を。

A. 歩道の狭さ、車歩分離の必要性など、これまでも多くの要望をいただいている。利用者目線で、経過報告を行いながら対応していく。

Q. 土日休日の駐車料金は平日の倍近いところも。子育て家庭が外出する機会が多い土日休日、駐車料金軽減策はとれないか。

A. 市の駐車料金については、今後の研究課題とする。

Q. 子育てママ・パパの必需品、チャイルドシート付きのアシスト自転車。大きく重く、駐輪場をあちこち回って置ける場所を探す状態だが。

A. 市の駐輪場はラック形式が基本で、平置きが少ない。ラックと平置きの比率の変更を検討していく。



Q. 公園の遊具、使えない場合は黄色いテープが張ってある。その理由や期間など、子どもたちに向けてのメッセージがつけられないか。大人と子どもの、こういうやり取りが大切だと思うが。

A. わかりやすい表現の看板を心がける。

Q. インクルーシブ公園も完成し、モバイル遊具の実証実験も行われているようだ。

A. ワンデisplayパークなどで実証実験しながら、実施していく。

Q. 夏休みの子どもの遊び場開催、就学前の低年齢児を対象としたものを増やせないか。身近な場所で実施してもらいたい。

A. 現在は旧梶原子ども会館で行っており、今年度は6回を計画している。また、場所や回数を増やすことも計画している。

Q. 子育ての不安、負担軽減、要望は、子育てが終わってしまうと自分ごとではなくなってしまう。今すぐに、の対応が必要だ。

A. その時々で素早く解決し、不安や負担感を次の世代に積み重ねないようにしたい。子どもがすこやかに育つまち、ともに育つまちを目指して子育て支援を続けていく。

交通不便解消への取り組み

●公共交通手段がない地域だけの問題ではない

不便解消のため、オンデマンド交通など実証実験も行われていますが、なかなか実施には至りません。従来は公共交通手段がない地域が対象でした。最近ではバス便が減った、運転免許証を返納した、フレイルなどの健康状態、あるいは妊娠や子どもと一緒にの外出など、移動の不便さをより一層感じる理由が増えています。市ではこの生活実態から見た交通不便地域の内容を把握した上で、地域交通計画を令和7年度中に策定の予定です。



●新たな交通システムの課題

要望があったので実施したが乗る人が少ない。走らせてみたら乗らないのはなぜか。計画策定のためのアンケートの取り方は難しいでしょうが、その答えがわからない限り、解決には繋がりません。長野県安曇野市では、社会福祉協議会にオペレーターを置き、市内全域を14台の車両が乗合タクシー方式で実施しています。住民と公的機関が交通企業と協力して取り組んでいくことが必要だとわかります。

●社会福祉法人の地域貢献事業

各地の社会福祉法人、あるいは市の老人センターの送迎車両の活用など、地域貢献としての活用例もあります。大変ありがたく、貴重な「足」となっているのですが、基本的には施設の空き時間、業務の活用であり、市民の要望に答えるには限りがあります。

●これからの地域交通のあり方は

これまで実証実験を行ってきたオンデマンド型、あるいは福祉法人等による「地域貢献型」。いずれも決定打とはなり得ていません。子育て支援もそうですが、交通困難解消も、願いは年齢や状況によって変化します。今の困りごとを今すぐ解決して欲しいのです。すべてが行政頼み、とは市民も考えていません。市民のニーズを的確に捉え、企業にもご協力を願って、今ただちに対応していただきたいのです。